

温篤新聞

通巻82号



いきなり10周年!?

お客様で10周年を迎える事が出来ました? 「おいおい、昨年の8月開業でしょ」とツツコミが聞こえてきそうですが、所々でお伝えしている通り、ここ『はり処 温篤』は、つくば市筑穂より移転して参りました。その以前の治療院『つくほ治療院』を開業して、お陰様で10周年を迎える事が出来ました。これも偏にご利用頂いた患者さんのお陰と感謝致すと共に、お礼申し上げます。

医食同源

サザエ

サザエには、タウリンが豊富に含まれています。これには、視力を回復させる働きがあると言われ、妊婦さんが食べると、胎児の網膜形成により影響を及ぼします。とくに授乳中に食べると、乳児の目の発達にも効果的です。さらに、タウリンには、心臓の働きを向上させ、過剰なコレステロールを排出し、血圧を低下させる働きがあります。海藻を食べるサザエの内臓には、海藻の濃縮エキスが含まれているので、旨味のもとであるグルタミン酸やビタミンA、ミネラルが豊富に含まれています。



私は、大学を卒業して会社員として働き出し、24歳の時に転職したので、治療家人生も今年で20周年になります。先月号にも書きましたが、すぐに鍼灸師や経絡治療家を志したわけではなく、マッサージや整体、カイロ等々、色々な治療法を学んで参りました。しかし、どれも慰安的要素としては、それなりの効果はあるのですが、その場しのぎの対症療法のようなものば

今月のツボ

崑崙(こんろん)

崑崙は、中国の神山である崑崙山から命名されたツボです。外くるぶしの大きな隆起を崑崙山にたとえ、そのすぐふもとにあたります。

崑崙山は古代の中国において、人々の厚い崇拜を集めた神話伝説上の神山です。しかも、地上ではなく天上に属する聖域とされ、天帝の居所は崑崙山のすぐ上空にあるといわれています。崑崙山は天上への通路であり、黄河はここを



崑崙

かりで、心を揺さぶられる事はありませんでした。

また、国家資格を取る為にしぶしぶ行った鍼灸学校でも、鍼とはズブズブ刺激を与えたり、電気を流して痛みを鎮静化させるだけの道具にしか過ぎず、東洋医学の特徴である特定の部位や疾患だけでなく、人全体を診て治療を行う『全人的医療』ではありませんでした。しかし、たまたま訪れた鍼灸院で、たまたま紹介された勉強会で、現在当院が行っている接触鍼による経絡治療に出会い、「ビビビッ」と感じ、「これこそが探し求めていた治療法」と確信し、今まで学んだ全てを捨て、経絡治療の道を進み出しました。現代科学・現代医学からすれば「不思議」という言葉を使わざるを得ませ

源としていると信じられていました。

場所は、外くるぶしの上の端に指を当て、後方にずらし、ていくとアキレス腱の手前に窪みがあり、その窪みの中に取ります。

坐骨神経痛、足の関節炎、リウマチ、ねんざ、アキレス腱炎、足の冷え、頭痛、鼻血、目の痛みなど、様々な症状に用いられます。

んが、私を感じ取った指先の脈に従ってツボを選び、私の持った鍼先の感覚に従って手技を行うと患者さんの身体は間違いなく変わっていきます。この重さも形も匂いもないのですが、間違いなく存在し、整えていくことで人が本来持っている自然治療力が高まるのです。

決してパフォーマンス的には魅力ある物ではないかもしれませんが、心ゆさぶられた経絡治療の道に進んで来た結果、今を迎えております。今後この温篤にて20周年30周年目指して精進して参りますので、宜しくお願ひ申し上げます。



二十四節気と七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

そのよりどころとなったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配って四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また、二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらは大抵五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前がつけられています。

二十四節気

立夏

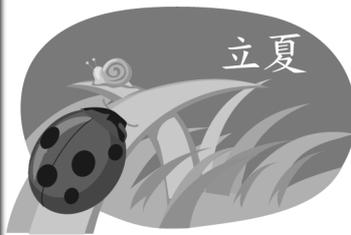
(五月五日)

夏の始まりの時期で、春分と夏至の中間にあたります。夏の始まりといいましたが、このあと梅雨を経なければ、本格的な夏には至りません。ゴールデンウィークの終盤にもあたり、世の中は新緑を愛でる行楽シーズンたけなわといったところでしょうか。

『手をかけずに目をかける』

自己主張の盛んな3歳前後の子供は、自分の身の回りことに親が手をかけることを拒み、何でも自分でしようとしています。こうした時期に、親の思いやりだと思いつまみ、いつまでも手をかけていくと、子供が自分の力で乗り越えなければならぬ多くの困難を、親が先回りして取り除いてしまうことにもなり、子供に自立心や責任感が育ちません。

昔から、子育てのポイントは「手をかけずに目をかける」と言われてきました。いつも子供のことを心にとめながら、手をかけずにその成長を温かく見守る、という意味でしょう。それは、冷淡に突き放すこととは違います。子供の成長を見つめて「じつくり見守ろう」という姿勢で接することが大切です。



七十二候

(五月五日～九日頃)

蛙始鳴(かわずはじめてなく)

春先に冬眠から醒めても、しばらくの間は眠そうだった蛙が、ようやく鳴き声を聞かせ始めます。朝夕の肌寒さも和らぎ、夏に向けて生き物の活動が活発化してきます。人間の世界もしかり。「春眠を覚えず」といったぼんやりとした気分から、そろそろ光眩しい夏を迎えるために気分が切り替わる頃ではないでしょうか。



季節の花

カーネーション

赤や黄、白、紫などの花色が豊富で、母の日のプレゼントとして好まれていたカーネーション。母の日の習慣は、1910年頃、アメリカで、一人の女性が母の命日に教会でカーネーションを配ったことに由来されているといわれています。その後、アメリカで五月の第二日曜日が母の日に制定されると、敬意と感謝を表して、母親が健在な人は赤色のカーネーションを贈り、母親を亡くした人は白色を胸に飾るようになりました。



5月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
①	2	③	④	⑤	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
⑳	23	24	25	26	27	28
㉑	30	31				

5月3日～5日は、お休みさせていただきます。

執筆余話

時代の流れでしょうか…

国家資格を有する鍼灸師は、医業種と自負する部分があり、医師と同様に治療する事だけが業と思いつている節があります。

しかし、サービスマンに属する整体やカイロなどは国家資格を有しない分、顧客に対する満足度を上げるために努めています。その中にはwell予約システムもあり、営業時間外でも予約出来たり、空き状況が確認出来たりします。しかも最近、医療であるクリニックなどでも取り入れている所が増えてきました。なのに、我々鍼灸業界だけがあぐらをかいている訳にはいきません。医業ではありませんが、無形財を提供するサービスマンでもあるわけですから。

という事で、当院も4月よりwell予約システムを始めました。もちろん今迄通り電話も通じますので、どちらでもお好みの方で御予約下さい。



「一日一話」より